

広い意味での職業奉仕。

国際ロータリー第 2580 地区
2024-25 年度ガバナー

石川 彌八郎



7月12日東京東 RC 公式訪問にて

本日は、僕が考えているところの職業奉仕の概念をお伝えいたします。

職業奉仕とは「人は、自らの職業を全うすることで、すでに社会に奉仕をしている。」という考え方ですが、僕は広い意味で職業奉仕を考えるのであれば、もう二つの考え方があると思っています。

そう考えたきっかけは、リタイアした人はどうなるのか。彼らの職業奉仕はどうなるのか。「引退後の職業奉仕はありえない。」と考えるのはあまりに切ない。という疑問を持ったことから始まりました。

結論は、リタイアした人でもその人が培ってきた経験を社会に活かしていれば、それは職業奉仕と云ってもよい。いわゆる、「昔取った杵柄」というやつです。

そう解釈すれば、「昔取った杵柄」は、何も引退するまでしまっておかなくてもよい。必要であれば、いま出してもよい。現在の職業、いわゆる本業と同時に世の中に提供してもよいのではないかと考えました。

●子ども達への水泳指導も立派な職業奉仕です。

そして僕が始めたのは、今年で四年目になりますが、小学校の夏のプールの水泳指導です。

僕は学生時代の四年間、毎年近くの小学校で子供に水泳を教えていました。その経験を今から活かすことができるのではないかと思います、近くの学校に相談に行ったら「ぜひお願いします」ということになり、それから毎年6月中旬から8月上旬まで週に数日、小学校のプールで子供に水泳を教えています。天気の良い日は、朝礼が終わると水着に着替えてビーサンを履いて、本業そっ

ちのけでプールに行ってしまうのですから、初年度は「本当にこれでよいのか」とも考えました。しかし、小学校の先生が水泳指導でご苦労されている現場で、それなりに役にも立っ



ていたので、「満更でもない、いや、これも職業奉仕だ」と、自らの仮説を実証した次第です。

皆さんも、自分の人生を振り返ってください。知識でも技術でも何らかの経験を、今更、かもしれませんが世の中に提供してみたいかがでしよう。意外に役に立つかもしれませんよ。

●自分の特技を奉仕活動で生かしましょう。

そしてもう一つの広い意味での職業奉仕は、「自分の特技を世の中の役に立てること」です。頭が悪けりゃ、顔がいいとか。顔が悪けりゃ、性格いいとか。人間何か一つぐらいは取り柄があるもので、僕は、何にもなくても、ハーモニカは上手に吹くことができます。僕がハーモニカを始めたのは30歳の時でした。それまでは、子供のころからピアノを習っていたとか、学生時代にバンドをやっていた経験はなく、音楽と云えば学校の授業だけでした。当然、最初から上手に吹けたわけではありませんが、好きだったので、少しづ



つ上手になってきました。そんなあるとき、ある人から「太郎君はハーモニカが上手になってきたけど気を付けたほうがいいよ。音楽なんて、上手になればなるほど、社長の道楽だと思われるのが関の山だからね」。確かにその通り、しかしもっと上手になりたい。ではどうすればいいのか、そのジレンマの結論は、「半端ではいけない。とことん練習して、金が稼げるくらい上手になる。しかし、稼いだ金は全部寄付する。文句あつか。」でした。しかし、やっぱりハーモニカは職業ではないのでお金をもらうことに、微妙な抵抗もありました。しかし、それでもよく考えれば、職業であろうがなかろうが、「人は一定の価値には一定の対価を払うべき。フリーライドはよろしくない、特に相手が経済的に豊かな場合はなおさら。」と、結論し「しっかり稼いで、しっかり寄付」のスタイルに落ち着いたのです。40代半ばまでは赤十字に寄付をして紺綬褒章を頂きました。2008年のことでした。その後は東日本大震災が起こり、現在では「ロータリー希望の風奨学金」にほぼ全力投球でハーモニカを吹いています。

●あなたにとって職業奉仕とは？クラブで話し合ってください。

手段は様々ですが、その人が最期まで世の中の役に立つ人間であることができたのであれば、その人は最期まで職業奉仕をしてきた、といえるのです。職業はその中心的存在にすぎないのです。「職業奉仕」とは

我々が生きている意味、生まれてきた理由を考えながら行動することです。その価値を表現するのに最も効率的で、手取り早いのが我々の職業であった。と考えてもいいと思いますが、皆さんはどうお考えですか。時間が取れたら、各クラブで話し合ってみてください。



●来月は「4つのテスト」を話題にします。

さて、我々は自らの命の意味を職業において表現しようとしています。その「職業」に正面から向き合ったときに取るべき姿勢を語っているのが「四つのテスト」です。来月は、その「四つのテスト」について僕の考えを述べます。そして、「なぜ『職業』を『天職』とするのか」。「Vocational Service」についても、僕の考えを続けます。乞うご期待。

●“ご縁”を大切に、沖縄での出来事。

6月は、沖縄の名護RCの50周年の式典に行ってきました。一晩早く沖縄入りして那覇のライブハウスで「一稼ぎ」してきました。福生で活動していた、ピアノ・ヴォーカルのダイナ・ミキさんが沖縄に移住したので、彼女にアレンジしてもらいましたが、初対面のギターの牧野元昭さんの演奏は強烈に素晴らしく驚きました。後で聞いたのですが、彼はシュガー・ブルーというミック・ジャガーに認められ、ローリング・ストーンズのレコーディングに参加していたハーモニカ奏者とシカゴで永年一緒に演奏していたとのこと。そんな人と同じステージに立てたとは、「ご縁」は大切にすべきですね。

ガバナー補佐13人のプロフィールを紹介します

—今月は6名の方をお願いしました。次号もお楽しみに—



廣本 慶一

所属：東京四谷

担当：東京西北、東京新宿、
東京四谷、東京新都心、
東京ワセダ、東京一ツ橋

私はビールが大好きです。どんな飲み会に行ってもほとんどビールばかり飲んでいます。それもかなり飲みます。ビールばかりでお腹がいっぱいにならないの？とよく言われますが、なりません。そしてビールはどんな料理にも合います。ロータリーも大好きです。友人や仕事の縁も多くありますが、仕事以外の活動の中心はロータリーです。入会して多くの人と出会いました。他クラブや地元の人たち、ロータリーが無ければ出会えなかった人たちばかりです。そしてロータリーでは奉仕することを知りました。それまで寄付などすることもなかった私が、人のために何かをする奉仕ということを教えてくださいました。

私の仕事は社労士です。昔から社労士だったわけではありません。45歳から勉強してよく資格が取れたな。と思いますが、もう15年目になります。

学生から社会人とラグビーをやっていました。今と違って水も飲めない根性ラグビーです。その縁はいつまでも続きます。いまだに多くの友人と集まっては飲んでいます。ビールを。



須藤 仁

所属：東京麹町
 担当：東京、東京神田、
 東京麹町、東京紀尾井町、
 東京お茶の水、東京丸の内

私生まれも育ちも芝浦です。おっちょこちょいが玉に傷。マテができない犬のよう。仕事は芝浦で電気機器製造業を営んでいます。お陰様で昨年創業 100 年を迎えることが出来ました。趣味はロータリーのご縁で茶道と合気道のお稽古に勤んでいます。そのお陰で少しはマテができるようになりました。好きな本は山崎豊子作の戦争 3 部作などです。音楽はホイットニーヒューストン I Will Always Love You、映画は当然ボディガードです。寅さんシリーズは全編観ています。ロータリーは私にとって出会いの場であり、尊敬する裏千家千玄室大宗匠とお話しできましたこと、合気道植芝守央道主と同席できましたことなど多数のロータリアンと多数の奨学生・学友と知り合うことができましたロータリーは私には大きな財産です。



渡辺 功一

所属：東京セントラルパーク
 担当：東京城北、
 東京セントラルパーク、
 東京練馬西、
 東京練馬中央、東京御苑

職業分類は建設業、祖父が角管（現西新宿）で起こし 60 年前に杉並に移転して今期で 78 期を迎える。（昭和 31 年生れ）2002 年に入会して 2 年目頃に先輩会員から「仮設ステージを作ってくれ」と言われた。これが阿佐谷ジャズストリートとの出会いである。
 毎年 10 月の第 4 週の金土の 2 日間、阿佐谷の街がジャズ一色に染まる！総てボランティア運営による町おこしイベント。今年で 30 年、気が付けば実行委員長を務めて 18 年になる。ロータリーは 50 歳以降の私の人生に素晴らしい刺激を与えてくれた。業界内でいろいろな矛盾を抱えていた頃同級生が誘ってくれた、彼は私を入会させるのが目的だったかのようにすぐに退会してしまったが、振り返ってみると自然に奉仕活動をしていたのだと思う。



藤田 哲朗

所属：東京後楽
 担当：東京北、東京小石川、
 東京上野、東京本郷、
 東京後楽、東京目白

2024-2025 年度北分区 A グループ担当のガバナー補佐に就任した東京後楽ロータリークラブの藤田哲朗です。北分区 A グループは 6 クラブあり大変特徴のある素晴らしいクラブなので訪問するのが楽しみです。
 私は 1959 年生まれで 65 歳になりました。東京後楽 RC にはチャーターメンバーとして入会させていただき、ロータリー歴は 25 年になります。学生の際はラグビー、テニスをやっていました。中学から大学まで同じ学校で今の天皇陛下と同学年でした。卒業後の同期会で酒を酌み交わしたのもいい思い出です。会社は「こんぶ茶一筋」100 年以上で「玉露園食品工業株式会社」を経営しています。
 1 年間石川ガバナーの下、一生懸命頑張りますので、よろしく願い申し上げます。



石川 宜司

所属：東京池袋豊島東
 担当：東京池袋豊島東、
 東京板橋、東京池袋西、
 東京板橋セントラル

バブルが弾け在籍していた会社が倒産した為、2000 年 9 月、ガイア株式会社（建設業）を設立しました。目指すところは、①よい建物（顧客の希望する建物）を早く、安く作ることに徹する②ステークホルダーすべての幸福の最大化をすとし、社是としました。また、①スピーディーに対応②どんな小さな仕事も丁寧に③安価にできる方法を常に追求する を行動指針とし、ガムシャラに進んできました。創業 20 余年が経ち、ようやく認められる会社になったのではないかと考えていますが、更なる発展と事業承継が次なる課題と考えております。
 楽しみ・趣味は、悲しいかな仕事と酒を飲むことです。社員が帰った事務所で、酒をちびちび飲むことが喜びの一つです。



藤井 俊一

所属：東京リバーサイド

担当：東京王子、東京浅草、
東京荒川、東京浅草中央、
東京リバーサイド

私の仕事は医療系の情報処理サービス業で、医療現場の効率化と患者さんの安全をサポートすることに従事しています。データの正確な処理と分析を通じて、医療の質を向上させることが私の使命です。

好きな本は「古代への情熱」で、この本に深く感銘を受けました。考古学者のインリヒ・シュリーマンがトロイ遺跡を発見するまでの情熱と努力は、私自身の仕事に対する姿勢にも大きな影響を与えました。彼の探求心と諦めない精神から多くを学びました。

ロータリーとは、私にとって「親睦」を意味します。ロータリークラブの活動を通じて、多くの人々と交流し、信頼関係を築くことができました。共に活動することで、個人としても成長し、社会貢献の意識も高まりました。

第 2580 地区クラブ数・会員数

2024 年 6 月 30 日時点

クラブ数 73RC

正会員数 2,999 名 (内女性 321 名・10.70%)

6 月の入会者数 36 名 (内女性 7 名)

6 月の退会者数 128 名 (内女性 7 名)

6 月の増減数 -92 名

2023-24 年度入会者数 383 名

2023-24 年度退会者数 258 名

2023-24 年度増減数 125 名 (内女性 68 名)

【哀悼】謹んで哀悼の意を表します

東京西北

渡邊 順彦 (わたなべ よしひこ) 会員

逝去日 2024 年 6 月 10 日 享年 87

入会日 2013 年 2 月 18 日

(株) アテナ 取締役会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (1)

宜野湾

許田 栄子 (きよだ えいこ) 会員

逝去日 2024 年 5 月 29 日 享年 90

入会日 2013 年 12 月 25 日

社団法人 沖縄県助産師会 顧問

ポール・ハリス・フェロー

東京神田

五三 雅彌 (いつみ まさや) 会員

逝去日 2023 年 11 月 27 日 享年 87

入会日 1996 年 1 月 11 日

五三雅彌法律事務所 所長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2)

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

▶ロータリー財団メジャードナー

レベル 1 伊藤 三千男 【東京江東】

▶マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

5 回 清水 宜夫 【東京神田】

星野 大記 【東京本郷】

4 回 廣瀬 元夫 【東京神田】

3 回 松下 和正 【東京本郷】

2 回 小林 勝義 【東京神田】

藤井 城 【東京神田】

阪口 幸治 【東京浅草】

澤部 利蔵 【東京本郷】

小林 猛 【東京保谷】

1 回 金井 一成 【東京神田】

松本 宗己 【東京神田】

大家 正光 【東京神田】

鈴木 寛 【東京神田】

鈴木 久幸 【東京保谷】

▶ポール・ハリス・フェロー

穴吹 ゆみ 【東京神田】

松本 博之 【東京神田】

▶米山功労者・マルチプル

7 回 荻原 年 【東京神田】

4 回 鈴木 一行 【東京神田】

4 回 松下 和正 【東京本郷】

▶ポール・ハリス・ソサエティ

澤部 利蔵 【東京本郷】

7 月 16 日まで 敬称略、順不同

